



まくべつ

わたしたちのまち

(昭和57年11月1日現在)

人口 21,363 (+12)

男 10,555 (+11)

女 10,808 (+1)

世帯数 6,337 (+7)

人のうごき (10月中)

転入 66人 転出 67人

出生 22人 死亡 9人

||||| 生きる喜びを創造するまち・幕別町 (新総合振興計画) |||||



57年
12
No.371

おもな内容

- '82まくべつ この一年を振り返って……2・3
- まちづくりに使ったお金……4・5・6
- 文化・スポーツ表彰式行われる……7
- スポーツひろば……7
- 市街化区域・市街化調整区域が変わります…8・9
- まちのニュース……10
- ぼくのお母さん・わたじのお父さん⑦……10
- 早乙女キヨさん、満101歳、に……11
- ふるさと館ニュース③⑦……12

文化祭と公民館まつりを開催

文化祭は11月2日と3日に町民会館で開催され、手塩にかけて育ててきた菊の大輪などや書道展などがあり、また公民館まつりは、11月2日から16日まで、町内6カ所の公民館で開催、地域の特色を生かした催し物でにぎわっていました。

●発行・幕別町役場 幕別町本町130番地 ☎(01555)4-2111

●編集・町民課広報広聴係 ☎内線111 ●印刷・ソーゴ印刷

振り返って



旧途別川で羽を休める白鳥

0千円。面積1,965㎡。手狭解消、設備も近代化。

31日～2日ーサバイバル・スクール
(ふるさと館主催)中里小学校前



の糠内川付近で、小中学生58人が参加して行われる。

8月

- 13日ー農業者トレーニングセンター着工 事業費381,260千円。面積2,016㎡。完成予定は来年9月30日。
- 15日ー幕別地区盆踊り大会
- 15日、16日ー札内地区盆踊り大会
- 24日ー土づくり研修会(町民会館) 150人が出席。
- 27日ーわたぼうしコンサート(町民会館) 600人の観衆が熱唱に拍手。



28日ー札内農協農民運動会
29日ー幕別農協農民運動会

9月

- 1日ー幕別消防団連合演習(運動公園) 防災の日に日ごろの訓練の成果を披露。
- 6日ー幕別高校校舎改築促進期成会発足 同時に普通科間口増も陳情。

- 16日ー青空バザール(旧消防署前)
- 16日～18日ー敬老会 幕別、札内、糠内の3地区で開催。75歳以上のお年寄り 465人が出席。今年、米寿を迎えられた方は15人です。
- 26日ー第2回ばん馬競技大会(千代田えん堤右岸) 人馬一体となったレースに、2,000人の観衆が声援。
- 30日ー老人スポーツ大会(運動公園) 15種目の競技に1日楽しむ。



10月

- 1日ー開町記念日 幕別町功労者等表彰式を開催し、本町の自治、産業などの発展に永年尽された、12人の方と1団体を表彰。なお、本町は今年で開基85年です。
- 3日ー第5回産業まつり(依田公園)雲ひとつない秋晴れの日に、家族連れなどがどっと訪れ、過去最高の2万人の人出でにぎわう。



- 9日ー十勝中央大橋起工式 十勝中央地区広域農道の一環として、十勝川温泉と千住を結ぶ。早期完成を願いたいものです。
- 10日ー十勝集散地家畜市場落成(相川)
- 12日ー幕別郵便局落成 窓口が今までの2倍と、利用しやすくなる。

23日ーふるさと館でサケの自然産卵

今年も、12匹のサケが自然産卵のドラマをくり広げました。



25日ー早乙女キヨさん、満101歳に幕別一の長者で、十勝で二番目です。

11月

- 3日ー秋の叙勲 佐藤一馬さん(札内春日町)が勲五等双光旭日章を受賞。
- 10日ー日新近隣センター、泉町近隣センターが完成 日新は事業費17,200千円、面積184㎡。泉町は事業費15,500千円、面積145㎡。町内の近隣センターは27ヵ所に。
- 14日ー文化・スポーツ表彰式 文化賞が2人、スポーツ賞が1人受賞。
- 23日ー札内郵便局落成 今までの局舎の4倍と大変に広くなりました。

12月

- 5日ー白人小学校落成 事業費817,370千円。面積4,744㎡。
- 10日ー幕別温泉ホテル浴室の改築完成 事業費112,340千円。面積580㎡。
- 20日ー途別小学校完成(予定) 事業費195,500千円。面積1,348㎡。
- 20日ー札内北小学校増築完成(予定) 事業費96,050千円。面積536㎡。
- 20日ー糠内コミュニティセンター完成(予定) 事業費98,360千円。面積618㎡。

'82の広報まくべつは、チャウチャウという犬の表紙から始まり、もうすぐ「いのしし年」を迎えようとしています。1年を振り返ってみると、私たちの町にも、いろいろなことがありました。この1年間の主なできごとを、広報写真も織り込んで、つづつみたいと思います。

農業は、春先から順調な天候に恵まれ、畑作は豊作型でしたが、反面、水稻は不良になりました。

身近なものとして、交通事故は相変わらず増加傾向にあり、11月までに3人が亡くなり、より一層、交通安全を心掛けていきたいものです。

町づくりは、人口増加に対処できるように、新総合振興計画を基調に進めていますが、なお一層、町民の方々のご意見もお聞かせいただき、住みよい幕別町をつくっていきます。

1月

- 10日—ちびっこ新年会(ふるさと館)小学生50人が参加。
- 15日—成人式(町民会館)対象者 235人のうち 173人が出席。
- 26日—幕別青年会軍岡地区が最優秀賞 十勝支庁管内青年農業会議で、プロジェクト活動農産部門に。

2月

- 1日—老人福祉センターに開拓の掌 65歳以上のお年寄り160人が、ロビーの壁一面の陶板に手形を。
- 21日—女性ドライバー氷上運転講習会(町営リンク)冬道での事故防止のための安全運転技術講習会。
- 24日—農村花嫁の集い(幕別温泉)14人が参加。アンケート調査では、農業はやりがいがあるとのこと。
- 26日—緑町第2公区が全道新生活運動で発表 公区ぐるみで、資源回収運動などに取り組む。

3月

- 7日—新聞少年激励会 54人が招待され、ボーリングなどを楽しむ。
- 10日、24日—サケの稚魚を放流 ふるさと館で、昨年10月に生まれた稚魚を子供たちの手で放流。



14日—第5回明るいまちづくり住民大会(札内福祉センター) 150人が

参加。事例発表や分科会で積極的な意見が出される。

4月

- 1日—札内北保育所落成 札内保育所を廃止し、新たに新築したもので、定員90人。
- 2日—老人福祉センター落成 事業費99,850千円。面積 530㎡。ステージ付きの大集会室、談話室、生活相談室など。
- 3日—働く婦人の家落成 事業費103,630千円。面積 610㎡。講堂、調理室、軽運動場など。
- 29日—春の叙勲 美濃政市さん(棟内)が勲二等瑞宝章、川田政之さん(緑町)が勲七等瑞宝章を受章。

5月

- 7日—交通事故死ゼロ 500日達成 帯広警察署から感謝状。
- 16日—第2回桜まつり(運動公園)家族連れなどで1日中にぎわう。
- 17日—交通死亡事故発生 交通事故死ゼロの日 539日でストップ。
- 18日—町営育成牧場の入牧 330頭が入牧し、10月中旬に出牧。
- 20日—ゲートボール同好会発足(町民会館) 老人クラブ11団体のお年寄り 225人で発足。実技講習会も行われる。



'82 まくべつ

この一年を

- 23日—まくべつ歴史散歩(ふるさと館主催) 50人の親子が参加し、探訪。
- 30日—ゴミゼロの日 町内で約 2,000人が参加し、10,000個以上の空き缶を拾いました。

6月

- 20日—幕別家畜まつり(幕別農協主催)



- 22日—札内家畜まつり(札内農協主催)
- 29日—手づくりのまち推進委員会発足

住民の手で、連帯感あふれるまちづくりを進めようと、各公区、青年・婦人団体などが中心となり発足。

7月

- 7日—幕別町歌・音頭のレコードを16年ぶりに複製 わか町の歌を、地域ぐるみ、家族ぐるみでどうぞ。
- 23日、24日—町づくり見学会 110人が参加。最近完成した施設、お



よび、福祉関係の施設を中心に見学。そのあと、町長を囲んで座談会を開催。

- 28日—猿別C遺跡の発掘 1,300点もの石器、土器片が出土。
- 29日—幕別消防署落成 事業費333,53

昭和56年度決算から

まちづくりに使ったお金

「より住みよいまちづくり」を目標に町では、毎年いろいろな事業を進めています。昭和56年度にまちづくりに使われたお金の内容(町財政状況)をお知らせいたします。これは、町民の皆さんに、皆さんが納められた税金の行方と町財政のしくみを知っていただくためのものです。



幕別温泉から見た札内あかしや団地

一般会計および国民健康保険特別会計などで、公営企業会計以外の六特別会計を合わせた昭和五十六年度の決算状況は、表一に示すように歳入総額九十七億三千四百四十万六千円、歳出総額九十六億一千三百六十九万八千円でした。これを前年度(五十五年)と比較しますと、歳入において四億一千八百二十一万五千円の増(四・五%)、歳出では三億九千七百九十四万六千円の増(四・三%)となりました。

一般会計

一般会計は、歳入総額七十九億四百五十五万二千円、歳出総額七十八億二千九百五十六万七千円でした。その結果、歳入歳出差引七千四百九十八万五千円の剰余金が生じ、町財政は健全財政が保たれているといえます。生じた剰余金のうち、翌年度への繰越事業がありませんので、財政調整基

歳入

金に三千八百万円の積立てを行いました。よって、実質繰越額は三千六百九十八万五千円となります。歳入決算額は七十九億四百五十五万二千円で、前年度と比較しますと七千六百三十一万二千円の増(一・〇%)となりました。歳入財源の構成状況は、図一のとおりです。このなかで、皆さんが納められている町税は十億一千五百十二万一千円で、前年度と比較して二億一千六百五十九万四千円の増(二七・一%)となつています。また、町税の歳入総額に占める割合は一二・九%で前年度(一一・五%)を上回りました。税目ごとの内訳では、町民税個人四千四百二十三万一千円の増(一一・〇%)、町民税法人一千五百五十九万九千円の増(一一・一%)、固定資産税四千六百八十万円の増(二六・九%)

表一 昭和56年度 決算の状況 (単位千円)

| 会計名 | 歳入 | 歳出 | 差引残 |
|-----------|-----------------------|-----------------------|---------|
| 一般会計 | 7,904,552 (1.0%増) | 7,829,567 (0.8%増) | 74,985 |
| 特別会計 | 1,829,854 (23.0%増) | 1,784,131 (23.5%増) | 45,723 |
| 1) 国保会計 | 883,329 | 840,929 | 42,400 |
| 2) 簡易水道会計 | 16,606 | 15,767 | 839 |
| 3) 下水道会計 | 707,104 | 706,278 | 826 |
| 4) 営農用水会計 | 3,216 | 3,032 | 184 |
| 5) 区画整理会計 | 213,322 | 212,105 | 1,217 |
| 6) 飲供会計 | 6,277 | 6,020 | 257 |
| 計 | 9,734,406 | 9,613,698 | 120,708 |

()内は対前年比

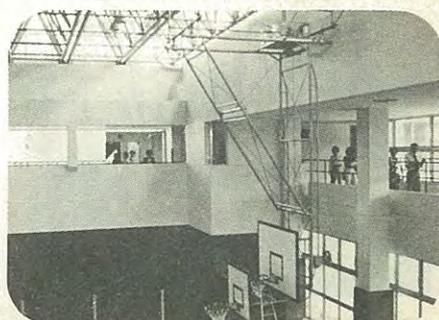
たばこ消費税九百六十六万一千円の増(一五・〇%)となつています。町の歳入で最も大きな割合を占めているのが地方交付税です。地方交付税は、国が国税(所得税・法人税・酒税)の一定割合を地方公共団体へ交付するお金で、五十六年度は二十四億一千四百五十二万二千円でした。これは、前年度と比較して三億三千三十二万八千円の増(一四・四%)となりました。町税を含め町が自由に使えるお金(自主財源・図一参照)は、二十億一千六百三十九万九千円(全体の二五・五%)で、前年度と比較して一億七千八百八千円の増(九・二%)となりました。国や道、そして町民の皆さんが納められたお金だけでは、数多くの事業を行うことはできません。



老人福祉センター (字依田)

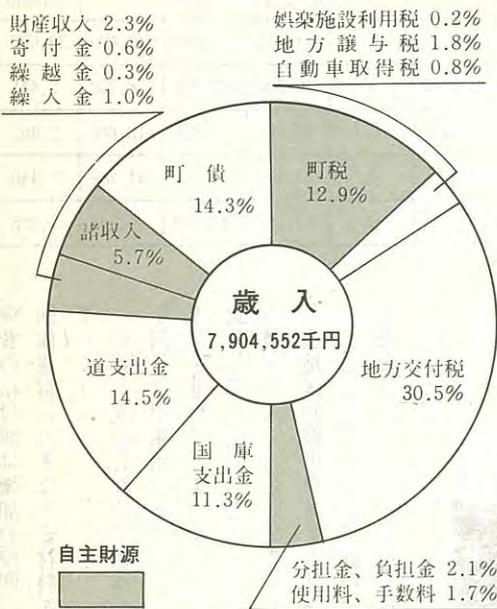


札内北小学校体育館 (札内北町)



白人小学校体育館 (札内青葉町)

図-1 財源の構成状況



ここで、国や金融機関から借りたお金を町債といえます。五十六年度の場合、十一億三千六百六十万円で、歳入総額に占める割合は一四・三％でした。これを、前年度と比較しますと、一億一千六百九十万円の増（一一・五％）となっています。

また、町財政の健全性を計るものに公債費比率があり、本町の場合、五十六年度は一・二・一％（前年度一・〇・三％）で、十勝管内平均一四・二％から見ると、かなり低い数値になっています。

その他の財源では、歳入総額の四分の一を占めている国・道支出金があります。五十六年度の場合、二十億四千二百六十四千円（歳入の割合の二五・八％）でした。国・道支出金は、事業の一部を国や道が負担するものです。ところが、国や道の基準が低いため、町の負担

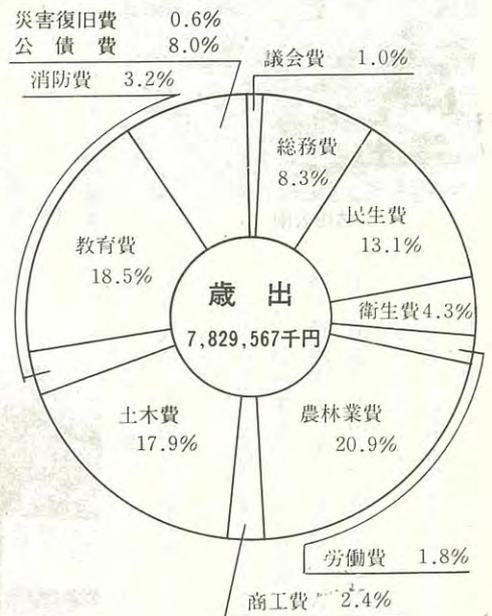
が大きくなる場合があります。これを超過負担といい、主なものとしては表二をご覧ください。

歳出決算額は、七十八億二千九百五十六万七千円で、前年度決算額と比較して五千八百五十万六千円の増（〇・八％）となりました。五十六年度は、白人小学校体育館、札内北小学校体育館の増改築および老人福祉センター、札内北保育所、働く婦人の家の新築など教育施設、社会福祉施設の整備を重点に、生活環境、生産基盤の整備が行われました。

歳出の内容を「目的別」にみますと、図二のように農林業費が十六億三千七百六十八万七千円（全体の二〇・九％）と最も大きく、以下、教育費が十四億四千五百五十八万二千円（一八・五％）土木費が

歳出

図-2 歳出目的別決算内訳



特別会計

国民健康保険特別会計などで、公営企業会計以外の六特別会計の決算状況は、表一のとおり、歳入額が十八億二千九百八十五万四千円、歳出総額は十七億八千四百三十三万一千円でした。これを前年度と比較しますと、歳入額で三億四千九百九十九万三千円の増（二二・〇％）歳出額は三億三千九百四十四

十三億九千八百八十八万一千円（一七・九％）となっています。

町財政の健全性を歳出面からみる方法として「消費的経費」と「投資的経費」の比較があります。この場合、投資的経費が大きいほど望ましいとされています。五十六年度の場合は、図一三に示すように投資的経費が五一・三％（前年度五三・七％）と消費的経費を上回っています。

用語の説明

- 公債費比率 「公債費」とは、町が借りた資金の償還に要する経費をいい、その経費が經常一般財源に占める比率をいいます。
- 經常一般財源 一般財源とは、町が収入するお金で、その用途が指定されていないものをいい、経常的に毎年度収入されるものをいいます。
- 消費的経費 支出効果が短期で終るもの（例一人件費、物件費、維持補修費など）
- 投資的経費 支出効果が長期に持続するもの（例建設事業費など）

万円の増（二二・五％）となっています。六特別会計のなかで、最も大き

緑町に新築された公営住宅



働く婦人の家(札内中央町)

札内北保育所(札内新北町)





公共下水処理施設の処理棟(字明野)

国民健康保険会計は四千二百四十万円の剰余金が生じ、健全財政を保つことができました。これは、冬期間の感冒、インフルエンザの流行が少なかったことなど、医療費が予想したよりも伸びなかったためといえます。しかし、年々医

表-2 超過負担の主なもの (単位千円)

| 事業名 | 負担率 | 補助対象額 | 補助基本額 | 補助金額 | 超過負担額 |
|-----------|------|---------|---------|---------|--------|
| 白人小建設費 | 1/10 | 641,945 | 553,093 | 242,400 | 38,693 |
| 札内北小屋体建設費 | 1/10 | 116,504 | 105,622 | 58,252 | 5,441 |
| 国民年金事務費 | 1/10 | 15,267 | 12,805 | 12,805 | 2,462 |
| 保育所運営費 | 1/10 | 61,735 | 51,561 | 41,249 | 20,486 |
| 農業委員会費 | 1/10 | 17,506 | 10,298 | 10,298 | 7,208 |



幕別札内線道路



区画整理(札内北地区)

療費の給付額は増加の傾向にあり、国保運営に大きな不安材料を残しています。
公共下水道会計は、昭和五十九年四月供用開始に向け急ピッチで事業を進めています。前年度と比較して一億四千七百二十六万円の増(二六・三%)となりました。
土地区画整理事業会計は、二億一千二百五十万五千円、飲料水供給施設会計は、六百二十万をそれぞれ支出しています。



依田公園

住みよいまちづくりに 簡易保険の還元融資

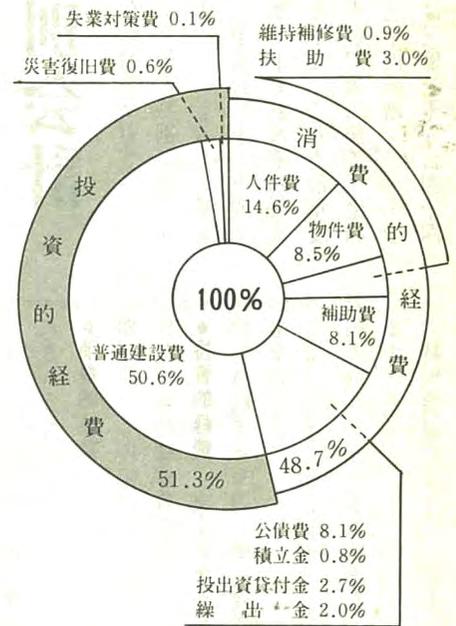
郵便局の簡易保険は、加入者が払い込んでくる保険料等を、将来の保険金や配当金として支払うまでの間、簡易保険資金として郵政省が管理運用し、長期安定資金として融資されています。
特に、広く資金を地方に還元して、地域住民の福祉増進を

図ることが必要なことから、地方公共団体への融資に重点がおかれています。
本町の借入金金の今までの主な内容は、公営住宅、学校、公園、道路、役場庁舎、上下水道等、合計十三億五千万円で、借入金総額の二〇%を占めており、これは、町民一人当りの借入額で六万三千二百二十八円となっています。



明野ヶ丘公園

図-3 歳出性質別決算内訳



ストップ・ザ・交通事故

- 7 -



明野二一八
永井ハナさん

女性の運転は未熟
冬道には気をつけよう

私たちは毎日、危険な車社会の中で運転者として、また、歩行者として生活をしています。しかし、危険ではあるが、日常生活から車を切り離すことはできません。手足となって共に働いている車も、いったん運転を誤ると、一命を落とす恐ろしい武器に変わります。一般的に女性は男性よりも、運転技術が未熟なこともあり、また、機械に対する知識不足などから、事故の割合が多いといわれています。私たち女性は、さらに初心に帰り、安全運転に徹しなければならぬと思います。これからは、厳しい冬に入り、雪が降るなど道路の凍結により、交通環境が一段と悪くなります。家族ぐるみで、交通事故に十分注意し、明るく住みよいまちをつくりたいものです。

昭和五十七年度

文化・スポーツ表彰式行われる

二十八個人・十二団体を表彰

町では毎年、幕別町の文化・スポーツの振興に、特に功績のあつた方、あるいは優秀な文化活動を行っている方、また、スポーツに優秀な成績を収められた方々を表彰していますが「昭和五十七年度文化・スポーツ表彰式」が十一月十三日、町民会館において行われました。

表彰式では、大石町長が「より一層のご活躍を」とお祝いのことばを述べられ、受賞者を代表し三好政男さんが「荣誉ある賞をいただきお礼申し上げます。これから町の文化・スポーツの発展に努力していきたい」とお礼のことばを述べられました。

催、選手養成に力を入れる。地域の文化活動と会の指導に専念している。現在四カ所の担当講師。

若月啓良(錦町) 田村陽子(札内春日町) 大内田功(新町) 篠永博子(本町) 篠永泰護(本町) 松田幸治(札内新北町) 柿崎由紀子(新町) 柿崎倫彦(新町) 幕別高校男子アーチェリー部(二チーム) 札内中学校女子四百リレーチーム 札内中学校野球部 札内中学校男子八百リレーチーム 札内中学校駅伝チーム 幕別中学校女子水泳チーム 幕別小学校女子水泳チーム 幕別卓球少年団女子チーム 第十四回道民スポーツ夏季大会幕別町陸上競技選手団 札内中学校陸上競技部

●小学低学年男子 ①篠永泰護(幕小)②根田和夫(幕小)③小笠原保(幕小)●同女子 ①武田智美(幕小)②永井理恵(幕小)③森本ひろ江(幕小)●小学高学年男子 ①駒井健一(幕小)②小串勝美(幕小)③鎌田訓共(幕小)④吉田英史(幕小)●同女子 ①篠永博子(幕小)②武田智美(幕小)③額麻衣子(幕小)●中学男子 ①山崎経継(幕中)②清水環(幕中)③片桐正晃(幕中)④宗岡寿美(札中)●同女子 ①石川麻子(幕中)②片山佳織(幕中)③佐藤久美子(幕中)④小師早苗(幕中)●一般男子 ①菅野勇次(本町)②渡辺勲(依田)③詫間雅博(五位)④伏屋英徳(相川)●同女子 ①青柳恵子(札内中央町)②中山ナミエ(札内あかしや町)③赤塚セイ(札内あかしや町)●壮年男子 ①駒井三郎(札内青葉町)②越田覚(帯広)③片山省太郎(軍岡)

今年、文化賞を二個人、スポーツ賞を一個人が受賞。また、文化奨励賞は四個人・一団体・スポーツ奨励賞は二十一人個人・十一団体が受賞しました。

各賞を受賞された方は次のみなんです。

昭和三十四年に、町体育連盟野球審判部の設立と同時に審判員となり、現軟式野球協会の副会長として、野球技術の普及指導に努める。昭和五十五年には、町体育指導委員に委嘱、体育振興にあたっている。

●文化賞 高桑 幸子さん (本町・無職)

●文化奨励賞(敬称略) 高橋智幸(明倫)高山千夏(錦町)長田恵美(駒島)宇佐美亜希(緑町)幕別かるた同好会・吹雪の花

七歳から藤間真澄氏に師事。昭和四十三年より町内において、舞踊教室を開き、三団体の舞踊研究グループを育成。現在五十人の会員を指導する。

●スポーツ奨励賞(敬称略) 新保哲(旭町) 亀井宏治(明倫)

●団体の部 ●中学男子 ①幕中A ②札中A ③幕中B ●同女子 ①幕中A ②札中A ③札中B ●一般 ①札内卓球同好会A ②新田ベニヤ ③札内卓球同好会B

●個人の部

●個人の部



表彰式(黒川教育委員長のあいさつ)



浦田ミヨ子さん (札内中央町・無職)

民謡会に入会以来二十一年を迎える。十勝地区大会、全道大会開



高桑 幸子さん (本町・無職)

●文化奨励賞(敬称略) 高橋智幸(明倫)高山千夏(錦町)長田恵美(駒島)宇佐美亜希(緑町)幕別かるた同好会・吹雪の花



三好 政男さん (新町・会社役員)

全町卓球大会が行われる

第十八回全町卓球大会が、十月十七日に幕別小学校体育館において、百六十人が参加し、熱戦が展開されました。

大会成績は次のとおりです。



たばこ消費税は暮らしの中に生かされています

(昭和56年度のたばこ町消費税は74,090千円)

●たばこは町内で買ひましよう



市街化区域 市街化調整区域が 変わります……

帯広圏都市計画区域

12月24日に公聴会を開催

帯広圏（帯広市・幕別町・音更町・芽室町の一市三町）の都市計画市街化区域および市街化調整区域の一部を変更することになり、昭和五十七年十一月二十五日付で、公聴会開催が、北海道公報に告示されました。

そこで道は、十二月二十四日に帯広市勤労者福祉センターで公聴会を開催し、素案についての住民のみなさんのご意見などをお聞きすることになりました。

変更計画案、公聴会について、概要をお知らせいたします。

変更の必要性

現在、帯広圏都市計画区域で定められている「市街化区域および市街化調整区域」に関する都市計画は、昭和四十五年十二月二十八日に決定しました。その後、昭和四十六年十二月十六日に一部変更し、さらに昭和五十二年十月十五日に見直しを行い、住みよいまちづくりを目指し、およそ十年先を目安に定めて決められております。

昭和五十五年から行っている、都市計画基礎調査および将来予測の結果などを考慮し、目標年次を昭和六十五年とした見直しを行い、修正変更することになりました。

変更の基本方針

現在定められているこの都市計画は、昭和六十年を目標として計画されており、変更案は、過去の人口増加状況や土地の利用状況を基にし、目標年次を昭和六十五年におき、人口、土地利用などの基礎的事項を予測して定めることになりました。

帯広圏における昭和六十五年の都市計画区域内の計画人口は、約二十四万八千五百人と予測されるので、市街化区域の範囲としては、この人口および産業のうち、市街地に配置すべきものを、適正に収容することのできる規模のものを考えております。

また、新たに市街化区域に配置される区域は、計画的な市街地整備が確実な区域であることとされており



人口の見通し

| | 昭和55年 | 昭和65年 |
|----------|------------|------------|
| 都市計画区域人口 | 約 202,600人 | 約 248,500人 |

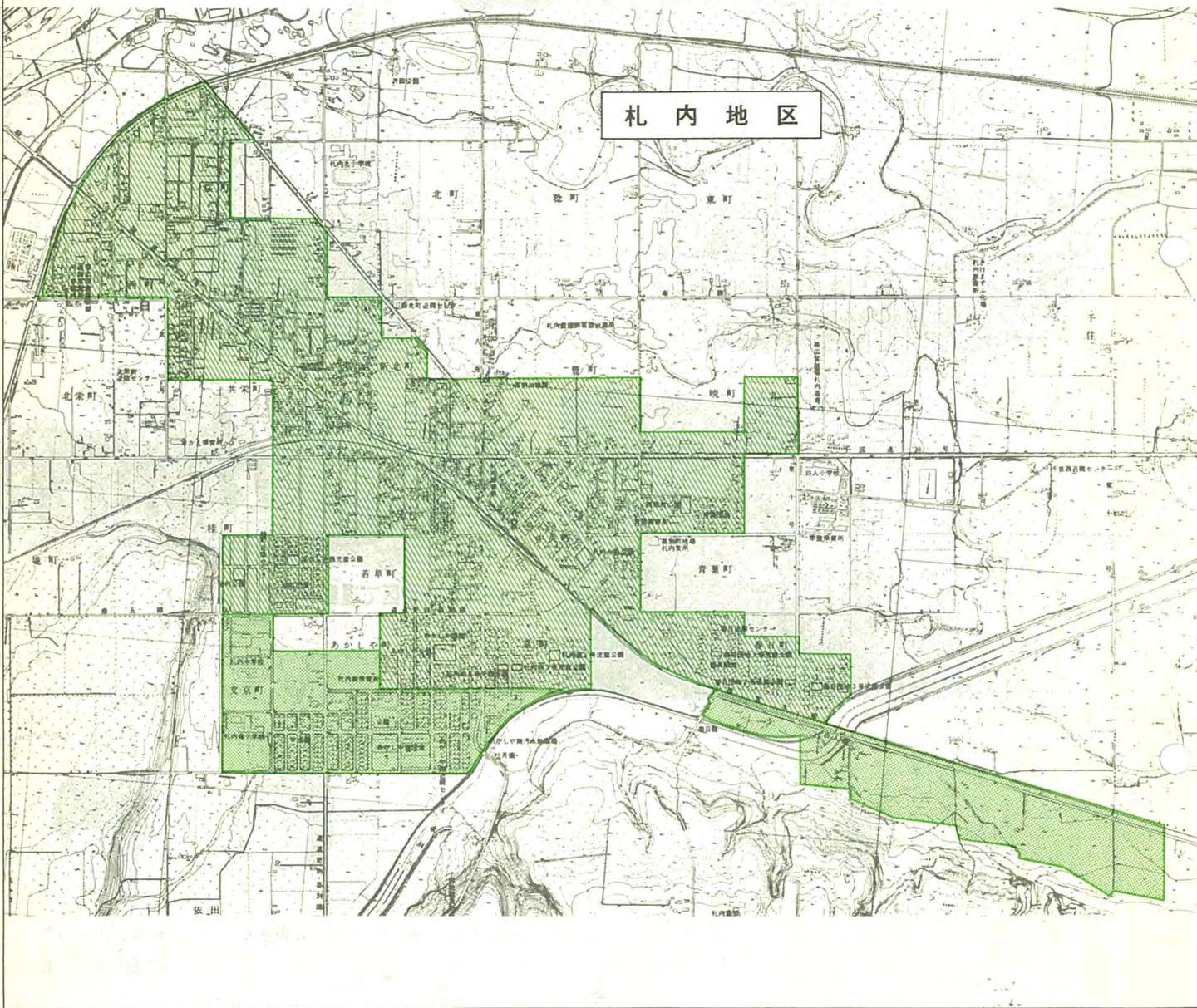
市街化区域の規模

| | 市街化区域 | 都市計画区域 |
|----|-----------|-----------|
| 現在 | 約 4,970ha | 約32,900ha |
| 素案 | 約 5,440ha | 約32,900ha |

凡 例

-  現市街化区域
-  市街化区域へ変更する部分

帯広圏都市計画にかかわる 市街化区域の変更図(素案)



公述したい方は

道では、この素案に対する公聴会を十二月二十四日(金曜日)午後一時三十分から、帯広市西六発南七丁目、帯広市勤労者福祉センター大ホールで開催し、皆さんのご意見をお聞きいたします。

この公聴会で意見を述べたいと希望される方は、十一月十七日(必着)までに、道の素案に対する意見の要旨とその理由、ならびに住所、氏名を記載した書面を知事(札幌市中央区北三条西六丁目、郵便番号060-91、北海道住宅都市部都市計画課)あて提出してください。

なお、知事は公述申し出の書面を提出された人の中から、公聴会で意見を述べることができる人を定め、本人にその旨を通知することになっております。

また、公聴会での傍聴は会場の都合で、先着三百人で締切ることがありますので、あらかじめご了承ください。

公聴会および素案に関することは、左記におたずねください。

●北海道住宅都市部都市計画課

札幌市中央区北三条西六丁目

電話 011(231)4111

内線 2804

郵便番号 060-91

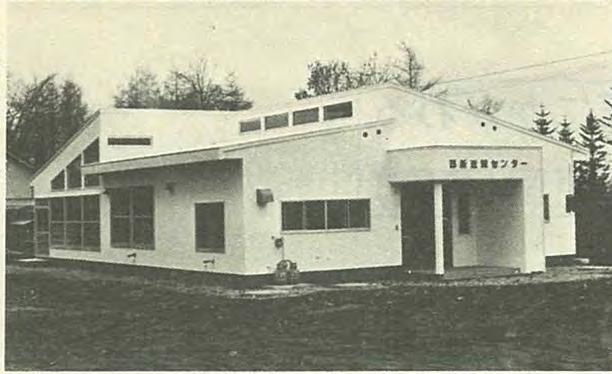
●幕別町役場建設部都市計画課

幕別町本町一三〇番地

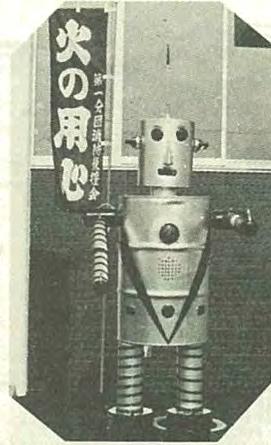
電話 (4)2111 内線464



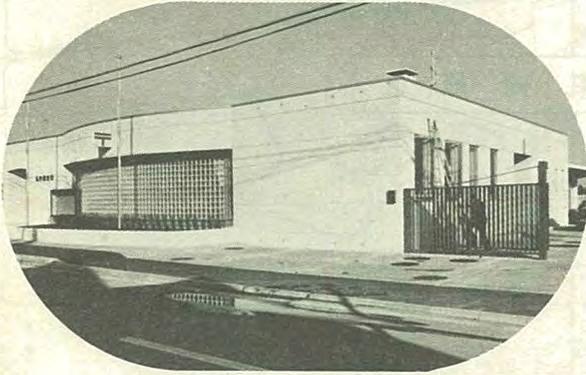
まちのニュース



●近隣センターが二十七カ所に
十一月十日に、日新近隣センタ
ーと泉町近隣センターが完成しま
した。地域活動の場として、大い
に利用されています。



●火災予防運動に一役買う「ロボ丸」
幕別消防署の前に、署員の手作りのロ
ボットがひょっこり現れました。リモコ
ンで手や首、耳が動き、話もできるとい
う精巧なこのロボット。名前は子供たち
の投票でロボ丸に決まり、人気者になっ
ています。



●札内郵便局が移転しました
札内青葉町三十一番地に完成し、
十一月二十二日から新しい局舎で
仕事をしています。建物は、旧局
舎の四倍と大変に広くなりました。



●緑町第3公区で運動会を開催しました

10月17日にみどり保育所で、90人が参加して、運動会を
開催しました。ひと汗かいたあと、野遊会を行い、豚汁を
食べたりカラオケを歌って、公区の親睦をはかりました。



●札内若草町公区に公区旗の寄贈
札内若草町公区に公区旗が、前
公区長の山角保さんから寄贈され
ました。公区旗の図案は、公区の
住民から募集したものです。

ぼくのお母さんは、もいわ小
学校にかよっていました。とく
いな勉強は、算数のかけ算の暗
記と図工の絵でした。
ぼくが二年生の時、かけ算の
暗記を、お母さんときょうそう
したら負けました。そこで、お
母さんに負けぬように努力し
て、もう一度きょうそうしたら
こんどは、ぼくが勝ちました。ク
ラスの人数を聞くと、三十数人
いて、その中でも、はやく暗記
ができたんだなあ、と思いまし
た。



お母さん



新和小学校(3年)
村田寿一君

ぼくのお母さん ⑦ わたしのお父さん

ぼくが、まだ五さいの時、お
えかき帳にクレヨンで自動車の
絵をかいていると、いろいろな
かたちや色の自動車をかいてく
れました。お母さんは、絵が上
手だったんだなあ、と思いまし
た。ぼくも、いつしよけんめ
いがんばって、上手に絵をかけ
るようにしようと思います。



お父さん



新和小学校(6年)
助川真由美さん

うちのお父さんの手は、片っ
ぽうしかありません。でも、う
ちのお父さんは、ふつうの人み
たくよく働きます。だけど時々、
お父さん一人ではできない仕事
もあります。それは牧草を積む
ときや、その機械を運ぶときで
す。
お父さんは、両手のある人と
同じように一生懸命働くので、が
んばり屋だなと思います。もし、
私が片っぽうしか手がなかった
ら一生懸命に働かないと思いま
す。
お父さんの手は、右の手がな
いので、よけい大変だと思いま
す。字を書くときでも大変そう
ですが、でも左手で上手に書き
ます。私が書いたら下手なのに、
と思います。
これからも、元気で働いてほ
しいです。

早乙女キヨさん 満101歳に

町一番の長寿者

町内一の長寿者、相川の早乙女キヨさんが十月二十五日、満百一歳の誕生日を迎え、元気に「二世紀目」の人生を送っています。キヨさんは、十勝管内でも二番目の長寿者で、耳と目がちよつと不自由なほか足も腰もまだまだ達者。誕生祝いに



大石町長に昔の幕別を語って聞かせる早乙女キヨさん

は大石町長がプレゼントを持って駆けつけたが、この日は町が来年早々の発刊を予定している古老の話の記録集「幕別風土記」にキヨさんにも登場してもらうため、その取材も併せて行われました。キヨさんは、大正十一年八月の十勝川の大洪水など数々の思い出を振り返りながら、長い道のりをかみしめ、大石町長が「もつと長生きしてくださいよ」と言葉を贈って取材を終えました。



佐藤一馬さん(76) 札内春日町

佐藤さん 熟五等双光旭日章
教育に情熱を注ぐ

「ただ与えられた仕事をしてきただけのことで、これといったこと

短歌

あゆみ会

十月詠草

新装なれる郵便局の明るくてこころ若やぎ年玉を受く
年どしに足遠のきし吾子の今いかにすこすと臥しつと思ふ
彫刻のしたる柩に納められし姉を化粧する吾が手はふるふ
安値なる朝市のチラシにあふられてあれもこれもと買い過ぎにけり
豆におの並ぶ畑につづきたる幕別町のうごきゆたけし

- 高橋由貴子
- 井上 松野
- 正田 ヤエ
- 大沢美枝子
- 平野 富夫

北海道社会貢献賞

幕別から二人

五十七年度道社会貢献賞に、現在、町の助役を務める高橋一男さんが自治功勞者、長い期間、地域の納税貯蓄組合長および同連合会会長を務める廻瀬茂さんが納税功勞者として、それぞれ受賞しました。



高橋一男さん (67)は、昭和十二年に町役場へ奉職し、各課長、教育長、助役(二期目)を歴任、四

十五年間にわたって産業、教育、文化、福祉の向上に多大の貢献をし、地方自治の発展に尽くしています。特に産業土地基盤の整備や機械化の促進、教育に努められました。



廻瀬 茂さん (70)は、昭和三十三年以来、地域の納税貯蓄組合連合会会長として、納税思想の普及と組合の

は特別にはなにもしていませんよ」と話す。
大正十五年に札幌の師範学校を卒業後、幕別小学校に教員として勤務したのを振り出しに、教育を自らの人生のすべてとしてきた。昭和二十八年、下音更小学校校

長時代、推されて音更町の教育長に。その後、三十二年に初任地の本町の教育長として三期十二年間務めました。
現在も、私立の十勝竜谷学園幕別幼稚園長として、小さな子供たちの教育に情熱を注いでいます。

基礎づくりに貢献しています。また、税務関係の役員を兼務し、積極的に組織を運営し、納税推進に努められた功績が認められました。
・広野貢さんは、十月に統計功勞者として、貢献賞を受賞しました。
民生委員が変わりました
—— 札内泉町地区 ——
九月一日から、札内泉町地区の新しい民生委員が、阿部喜代子さん(札内泉町73-27)になりました。 ☎(6)3484

寄付者のお名前

■町へ……
▽小尾丁二さん(錦町)から町体育連盟(バレーボール協会)へ十万円。
■社会福祉協議会へ……
▽佐々木福助さん(南勢)から妻が生前お世話になりましたと三万円
▽杉野幸四郎・ミヨさん(旭町)から三千七百五十九円
▽タンポポサークル(代表・山根淑子)から不用品交換会の売り上げの中より五千元
▽小尾丁二さん(錦町)か

おちついて正しくかけよう 110番

110番は、事件や事故にあったとき、事件や事故を見たり聞いたりしたときに、知らせしていただく、あなたの声の交番です。

《110番に知らせることがら》

- 何があったのか
- いつ、どこで
- どんなことか
- 犯人は
- 犯人の逃げた方法と方向
- 被害者は



大石町長に手渡す佐々木繁理事長

十勝家畜商協から 百万円の寄付

十勝家畜商業協同組合(理事長・佐々木繁)から十勝集散地家畜市場の移転新築落成記念として、町へ百万円の寄付がありました。

ら妻が生前お世話になりましたと五万円。

サーモン通信 ②6

飼育校が10校に



札幌北小学校のサケ飼育初体験

ジャンボ水槽で自然産卵した卵は21,000粒でした。11月20日に水槽の水を抜き、砂利の中に産みつけられた卵を1粒1粒探しました。ふるさと館で18,000粒、学校で3,000粒の飼育が始まりました。12月第2週には次々にサケの赤ちゃんが誕生します。

サケ飼育は4年めで、大きく広がりました。昨年の学校飼育は4校、それが今年は10校にふえました。わかば幼稚園、幕別小、相川小、札内南小、札内北小、中里小、途別小、白人小、幕別中、駒島中で子どもたちの挑戦が始まります。来年の春、それぞれの学校近くの川から放流した稚魚は十勝川で出会い、北太平洋へ旅立つことでしょう。がんばれ！小さなサケ博士。

大晦日→元旦

ふるさと館 で新年を

十勝 サケを語り、新しい年を迎えよう
サーモン・フォーラム

ゲストは菅原安信さん(H.T.B ニュースキャスター)

大晦日、夜11時30分スタートです。

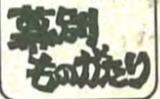
来年の秋、昭和五十五年に放流したふるさと館サケ第一号が帰ってきます(三年魚)。ふるさと館のサケ飼育が一区切りの年になります。

サケの飼育観察を通して、私たちは十勝の自然を学んでいきたいと思えます。大きな自然のサイクルの中にサケがいる、人間もやはり同じことが言えます。自然に対して傲慢になれば、いつか必ずしつべ返しがかかる。人間をとりまく自然が健康かどうかは、環境の変化に弱い生きものを見つめていればわかってきます。ふるさと館のサケ飼育の目的はそこにあります。

三年間のサケとの関わりをビデオテープでふり振り返りながら、サケと人間の明日を考えてみたいと思います。ゲストは「ヒゲのキャスター」でおなじみのH.T.B ニュースキャスター菅原安信さんです。

時間は十二月三十一日夜十一時

第33回



俺、思い出の学校⑨
茂発谷簡易教育所
落第したい

「当時の校舎(茂発谷簡易教育所)は十五坪もあつたかなあー。中しきり一つで教室と教員住宅がいつしよで職員室がなくて。飯淵先生が来た時に、こんな学校あるもんでないって、ヤキ入ったもんだ」と、新和に住む佐伯七さん(84歳)は七十七年前の学校での様子を語ってくれた。

「生徒も元氣よくてな。あの頃の弁当箱は柳ごうりで、中はイナキビ、トウキビだった。豆の煎ったのを袋に入れて行つては、しょっちゅうバリバリ、バリバリ。教



H.T.B. ニュースキャスター 菅原安信さん

三十分からです。除夜の鐘を聞きながらサケを語りませんか？ 入館は無料。初詣帰りにちよつとふるさと館をのぞいてみてください。

サケ釣りははじめ、実に多くの人々がサケについて考え始めました。そうしたそれぞれの思いを話し合ってみましょう。

十勝サーモン・フォーラムは、魚のプロだけの話し合いの場ではありません。素朴な疑問とかプロではない人の意見交換の場にしたと思います。途中からの参加も歓迎です。(朝三時終了の予定)。

恒例の開拓小屋体験宿泊(館内にある晩成社の小作人小屋)も実施します。こちらは元旦の朝八時までです。

丸木舟 製作スタッフを募集!

丸木舟の製作について、北海道開拓記念館に聞いてみました。

ヒビ割れを防ぎ、バランスのよい舟を作るには川のそばがよいそうです。それから、長い期間をかけて掘ると舟が割れたり、ねじれたりします。水に浮かべてバランスを調整しながら少しずつ掘っていくのがよいと、アドバイスをいただきました。

製作開始は水ぬるむ来春にしたいと思えます。直径八十センチ、長さ六・五メートルの丸木舟を作るのは、おそらく今回が最初で最後になります。そこで、丸木舟製作の中心になつていただける特別スタッフを募集します。町内に住む十五歳以上の人で、男女は問いません。定員は十名ですので申し込みは早めに。くわしいお問い合わせはふるさと館へ(担当・藤山)。



●明治37年(1904)：幕別村大字幕別村字茂発谷幹線二十番地に教室と教員住宅併せて十五坪の平屋葺葺の校舎を建設、茂発谷簡易教育所と称する。児童数二十五名。●明治41年(1908)：茂発谷教育所と改称。翌42年には、児童数の増加と通学の便を考慮し茂発谷幹線十一号甲四十六番地に部落民の寄付で校舎を新築(三十二坪)。木造平屋葺葺。一学級編成、児童数三十名。●大正六年(1917)：茂発谷尋常小学校と改正。●昭和8年(1933)：茂発谷、新和を併合し校名を共和尋常小学校と改正。翌年に新校舎が現在地に完成。同16年(1941)：学校制度改革で共和国民学校と改称。終戦後、昭和22年(1947)の新しい学校制度施行により新和小学校と改称。

室は豆だらけ。先生もとがめだてはしなかつた」

「ある時な、先生が生徒に「卒業したいか、落第したいか」と聞いたら、坂本君なんか「先生、俺落第したい！」って手を挙げた。書き方の授業中は顔に墨を真っ黒に塗って追っかけまわしてな。もちろん塗られたのは坂本君じゃつた」と話が進むにつれ、佐伯さんには楽しい思い出ばかりがよみがえってくるようだった。

(取材・小尾一彦)